

2 コラム RAMPWAY
泉 麻人

特集 ジャンクション・橋梁

5 **楽しいドボク**
千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科
教授
八馬 智

8 **自然を切り拓くロマン**
土木写真家
西山芳一

12 **ぶら〜り首都高めぐりの旅**
埼玉大宮線・埼玉新都心線の巻

13 **データ物語**
巨大! レインボーブリッジ

14 **Taste of the Season**
森下典子

16 **首都高HEADLINE**

18 **BUSINESS ESSAY**
「分かる」と「気づく」
グラフィックデザイナー
廣村正彰

20 **つくる人まもる人**
首都高メンテナンス西東京株式会社
鈴木克彦 望月 航

22 **高速百景** 中野正貴

contents produced by
Metropolitan Expressway Company Limited

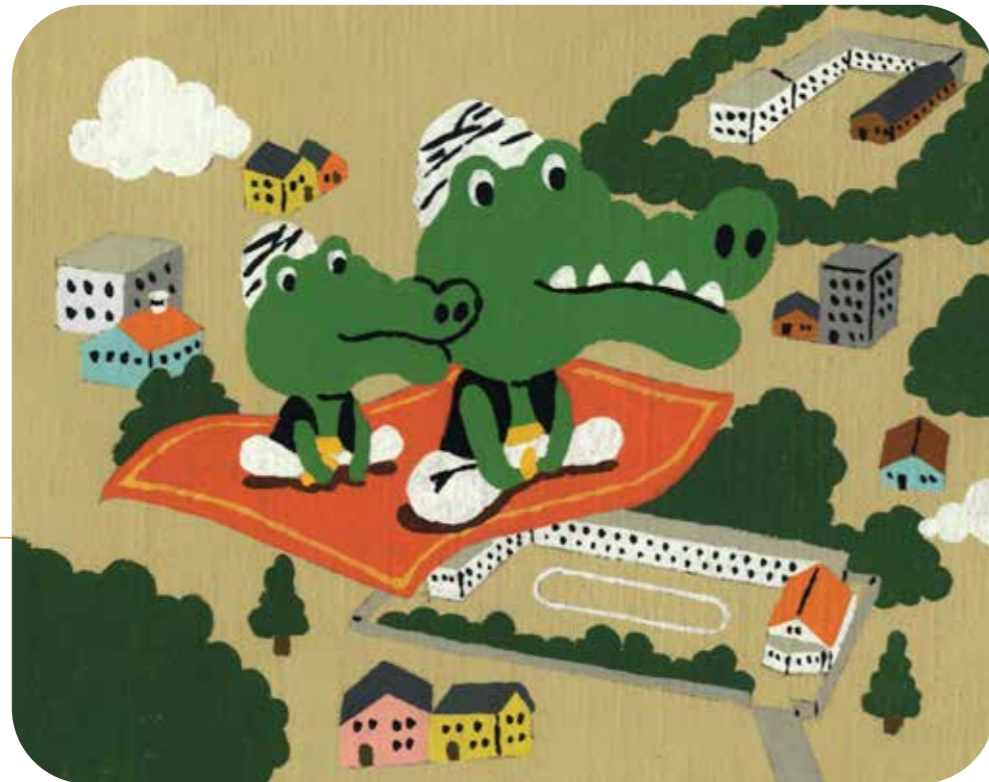


illustration by Takao Nakagawa

column | RAMPWAY 42

首都高名所案内

飯倉はイイクラか
イイグラか?

コラムニスト
泉 麻人

飯倉境界については以前ここで取り上げたことがあったけれど、あのときは首都高の出入口から近い飯倉片町のあたりが中心だった。元の飯倉町はもう一本東方の桜田通りの周辺で、東京タワーへ行く坂道の上り口に「飯倉」の交差点がある。昭和30年代頃までは、西久保八幡の南方から桜田通りに沿うように、赤羽橋へ向かって飯倉の町域が続いていた。

ところで、手元にあるNHKの昔から桜田通りに移動すると、西側に小学校が見えてくる。どうやらこの回によればれた男女の子供はこの児童らしく、徹子嬢の例のごとくの矢継早の質問に対して、学校行事の説明などを行っている。僕はこのDVDに監修で関わったこともあって、編集段階前のオリジナル映像を観ているのだが、確かそちらでは黒柳徹子がハッキリと「飯倉小学校」と校名を案内していたはずだ。

そのとき「イイグラ」と倉が濁音だったのが耳に残っているのだが、事実、この小学校の読みはイイグラが正確らしい。そう、飯倉片町の方はイイクラではなくイイグラが正式町名という。平成16年に統廃合されて閉校した飯倉小学校は、明治11年開校の古い学校だから、もしかや昔はイイグラの濁音読みの方が優勢だったのかもしれない。

桜田通りのウナギの「野田岩」の横道を入っていくと、現在は「東麻布保育園」に表札を改めて、昔の飯倉小学校の校舎が見える。古い屋敷が残る坂道を下って、東麻布の谷地に続く道を西進、狸穴公園の横の鼠坂をくねくねと上がっていくと、植木坂との分かれ道の先に島崎藤村旧居跡の碑が置かれている。

子供番組を集めたDVDのなかに、黒柳徹子がやっていた「魔法のじゅうたん」というのが収録されている。僕も幼児の頃によく観ていた番組だが、合成映像を使って魔法使いの黒柳が子供たちをじゅうたんに乗せて上空遊覧をさせるシーンが見所だった。このDVDに収録された回に往年の飯倉小学校が登場する。

実際の映像はヘリの空撮と思われるが、カメラのフレームが東京タワーかこの道を進んでいくと、外苑東通りに行き当たる。ちょうど向かいあたりに、ひと頃までは麻布郵便局(旧通信省貯金局庁舎)のクラシックな建物が建っていたが、もはやない。裏手の我善坊谷にかけての広大な再開発工事が進行中なのだ。

外苑東通りを西方へちよつと行くと、イタリア料理店の草分け「キャンティ」がある。1960年創業のこの店は、僕がこういう場所に立ち寄るようになった80年代当時、支店が六本木のロアビル向かいの横道にもあったので、こちらの本店をわざわざ「飯倉のキャンティ」と呼んでいた。飯倉という町名を意識した最初のスポット、といってもいい。

お昼の12時ちよつと前、久しぶりにキャンティのカフェに入ってパスタのランチを食べた。店を出て、すぐ先の飯倉片町の交差点の町名表示を見ると、なるほど、確かにI i g u r a : とローマ字表記されている。

いずみ あさと / 1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。『週刊TVガイド』などの編集者を経て、フリーのコラムニスト。近著に『1964 前の東京オリンピックのころを回想してみたい。』(三賢社)がある。